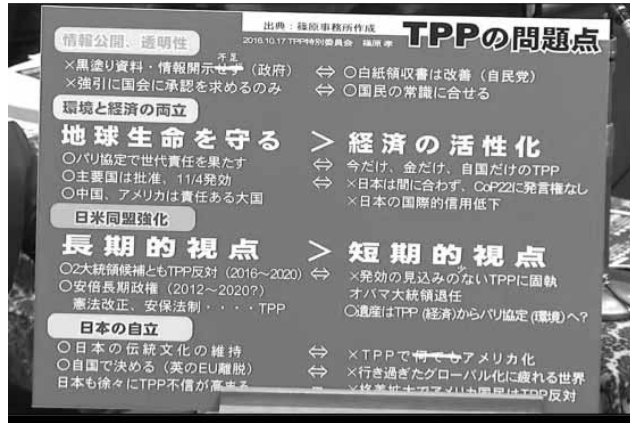


TPP衆議院特別委員会で審議進む 臨時国会前学習会では批准させない運動呼びかけ

参議院選挙前の国会で先送りとなり、現在開会の臨時国会の最大の焦点となっているTPP。政府・与党は今国会での条約の批准と関連法案の成立を目指している。審議も衆議院の環太平洋パートナーシップ協定等に関する特別委員会で進んでい



篠原議員質問時のパネル、正確でないし修正されたとする箇所に注目

て公聴会(10/26)の日程まで決まった。

今国会の特別委員会の理事には篠原孝議員(民進)が入っている。自らも10月17日の第3回委員会で質問に立ち「TPP協定交渉の透明性を確保するために甘利・フロマン会談の内容についての情報公開が必要」とし「総理、鶴の一声で情報公開」を迫ったが、安倍総理は「相当公開している。その後要求で1700頁にわたる資料も出した。甘利・フロマンは記録を残さない」の回答にとどまり、質疑時のパネル通り、情報開示は進展をみなかった。

臨時国会前に県内では学習会

長野県では、臨時国会前の9月9日に「TPPに反対する連絡会」が長野市内で600人を集めて学習会を開き、アメリカの事情に詳しい堤未果氏から「TPPの真実とこれから」、弁護士で元長野県弁護士会会長の小林正氏から「IS



TPPに反対する連絡会が臨時国会前に開催の学習会

保険医療機関の新規動向

関東信越厚生局のホームページで公開の保険医療機関指定状況から長野事務所関係の内科と歯科の新規指定分(開設管理者の交代や遡及を除く)を紹介している。8/1~9/30間では、内科4件。(氏名敬称略)

D条項とその影響」の講演をきき、「TPPの与える影響からすれば、十分かつ慎重な国民的議論が必要で拙速に批准をしてはならない」「『食』と『いのち』と『くらし』に影響を与えるTPPについて家族や友人等と話合ってみよう」と堤氏の提案にもあった身近なところからの運動を呼び掛けた。

皆保険は中から崩れる

学習会の堤氏の講演では、医療に関しては上陸する5つのビジネスの中の一つの括り「製薬企業、保険業」の中でふれられた。1.7%の人口で世界の40%の薬を使う日本は良い市場とのこと。皆保険制度で税金で薬を安定的に買ってくれる。TPPで薬の値段が上がると。皆保険の維持には、薬に自己負担を設けるか、自己負担の3割を8割にするか、病院の診療報酬を減らすなどで、医療経営が行き詰まる。自由診療が増え、民間保険に入った患者を診るようになり、現在のような保険証1枚でどこでも見てくれるところはなくなる。皆保険は中から崩れる、と描いた。

様々な制度が標的に

小林弁護士は、投資家対国家紛争解決(ISDS)条項について、世界銀行傘下の投資紛争解決国際センターの仲裁廷の仲裁人による判断で3人の仲裁人の多数決で決まり結果には執行力がある。仲裁人は多国籍企業300社の顧問弁護士100人から選ばれる。判断基準は国内法でなく国際経済法(規制は悪との自由競争至上主義)、公正衡平待遇・内国民待遇・ネガティブリスト方式・ラチェッ

去る9月18日・19日、石川協会の担当で標記の会議が「ホテル金沢」を会場にして開催されました。

この会議が「温故知新」の会であり文字どおり「保団連活動の原点から現在まで」を知り、理解するための貴重な内容である事は、以前から知っていました。

今回、私が保団連の北信越ブロック会議の担当事務になって居り、会場が金沢という事も

保団連若手医師・歯科医師のつどいin金沢(参加報告)

長野県保険医協会副会長 市川 誠
保団連理事

あって、初めて参加する機会を得ました。会議は、第1日が15時から21時で、その後23時までが懇親会と二次会。第2日は9時から12時と、とても密度が高い内容でした。

第1部は各地での取り組みの報告と保団連専門部活動紹介、で勤務医委員会から。第2部は先輩に聞いてみよう!、で保団連副会長宇佐美宏先生による「私と保険医運動」。第3部は特別学習会、で河北病院名誉院長 筋(あざみ)昭三先生による「命の平等を拓く・患者とともに歩んで」。第4部は全参加者での夕食懇親会。第5部は

みんなで討論会「地域医療のあり方」について、で保団連副会長 高本英司先生が「地域包括ケアとかかりつけ医」について話題を提供されました。私が保団連理事であるため尚更かもしませんが、多くの時局情報が得られ、とても楽しく、有意義な時間を過ごせました。

この会議は保険医協会に加入している先生であればどなたでも参加できる会です。「地域で

患者さんと向き合う時、地域医療現場で、今、何か問題点なのか」を知るためにとても有用な機会であると思います。毎年一回全国各地を回り開催される保団連の主要な事業ですので、特に地域医療対策についての見聞を広める為に、年齢や医科歯科に関係なく、一般会員の先生も機会があれば是非ご参加頂ければと思います。お問い合わせは各保険医協会の事務局までお願い致します。



金沢での若手医師歯科医師のつどい参加者の記念写真から

投稿

今から50年前、28歳宮城県塩竈で「耳鼻科医」として、そこそやっておりました。その時、「耳鼻科処置3点から2点に減点」問題あり、「保険点数」など関心をもちねばと思いつつあった「保険医運動」に参加、「宮城県保険医協会」設立に関与した。

7番目の「保団連(当時、準備会)」加入にこぎつけることができた。あわせて「耳鼻科」「眼科」など「専門対策」では大阪・京都・神奈川協会役員方々の献身的な支援があり、当時「反日医運動」と

揶揄されつつ、少しずつ会員増となった。

科学的真実にむけ、微生物学者、当時東北大学学・日沼頼夫教授(この方、後日、文化勲章を授与)らの話を聞く機会をもつことができた。

あわせて、「耳鼻科会」で「保険医運動」をPRしたこともありました。

今、枯れつつあり、行動参加の意気込み乏しくなりましたが、「社会的参加」にこだわり、「学校医」「産業医(聴覚関連)」などをしております。

【河原田 和夫】

ト条項(規制上乗せ不可、法人税等の増税も不可)などがあると特徴にふれ、投資家を保護する規定として生まれたこと。高額請求に伴う高額な仲裁・弁護の費用がかかる萎縮効果により国内法を前もって改正するという国家主権の放棄につながる点を危惧。配布資料に

掲載の各国で起きた事例を紹介し、ISDS条項により規制は悪との理念が貫徹され、様々な制度が非関税障壁として標的とされる点に注意を促した。

1...全国農業協同組合連合会長野県本部はじめJA関係諸団体、県医、県歯、県業、県医連、県保険医協会の医療団体、生活クラブ生協、生協連長野、長野医療生協など生協団体、県獣医師会、TPPを慎重に考える労働組合連絡会、食とみどり水を守る県会議など各層38団体からなる。

名称	診療科名 1	郵便番号	所在地	電話	開設者・管理者 2	従事 3	病床	指定日 4
クリニックレインボー	内小	381-0088	長野市大字吉1827-1 レインボーテラス内	026-295-1810	[開]社会福祉法人ハーモニー福祉会 理事長 三井五夜子 [管]若松まなみ	常勤1	無	2016/10/1
ストレスケア さらしなクリニック	心内精	388-8004	長野市篠ノ井会230-1	026-214-6735	個人・伊東 勉	常勤1	無	2016/10/1
あおぞらクリニック	外内他 消化器内科、 腫瘍内科、消化器外科	386-1102	上田市上田原1331	0268-75-1100	個人・尾崎 一典	常勤1	無	2016/10/1
箕輪ひまわりクリニック	内小他 糖尿病内科、 腎臓内科	399-4601	上伊那郡箕輪460番地1	0265-98-7206	個人・三浦 浩平	常勤1	無	2016/10/1

1診療科名は略記載。 2開設者が個人の場合は開設・管理者は同一。 3従事の形態で病院・診療所は医師数、歯科併設は区分明記、歯科診療所は歯科医師数。 4指定期間は指定日より6年。